

# 2017 年度 第 88 回 日本建築学会関東支部研究発表会 若手優秀研究報告賞

部門	タイトル	受賞者
材料施工	小規模試験体による軽量鉄骨下地間仕切壁の面外曲げ試験	正会員 沖 佑典 (建築研究所)
	外装材の色彩による雨筋よごれの見え方に関する研究—多彩模様の場合—	正会員 下田 ありさ (日本大学)
	版築ブロックの材料設計手法に関する基礎的研究—非破壊試験による圧縮強度およびヤング係数の推定—	正会員 杉山 晴香 (東京理科大学)
	爆轟を受けた鉄筋コンクリート部材に対する耐久性評価に関する実験的研究	正会員 清 敦俊 (東京理科大学)
	各種内装左官仕上げの VOC 除去特性の比較—左官材料を中心とした仕上げ壁の機能性評価—その 2	準会員 中田 倫 (工学院大学)
構造	山形鋼筋かい端接合部に対する乾式補強に関する実験 その 2 追加実験の計画	正会員 梶間 夏美 (東京工業大学)
	微細気泡を混入したセメントスラリーを用いた粘性土改良体の強度のばらつきに関する基礎的研究—土試料とセメントスラリーのゼータ電位—	準会員 川鍋 賢人 (日本大学)
	テンションリングを有する放射型ケーブル屋根構造の力学性状に関する基礎的研究	正会員 小池 健之 (日本大学)
	伝統的木造建築物の組物の寸法体系と剛性評価に関する研究 方三間仏堂を対象として	正会員 齋藤 耕太郎 (東京大学)
	高強度 RC 梁の損傷および復元力特性に関する研究 その 2 解析による復元力特性の考察	正会員 毎田 悠承 (千葉大学)
	既存木造建物の柱脚補強におけるアラミド繊維シート貼付形式の体系的検証実験	正会員 山口 あかり (首都大学東京)
	高機能繊維の建築構造部材への実用化に関する研究—金物接合と手結びによる接合の開発—	正会員 山口 界堂 (東京理科大学)
	snap による非線形性検出手法の閾値設定手法とその適用性検討 その 1 閾値設定手法とその非線形性検出の適用範囲	正会員 涌井 将貴 (新潟工科大学)
防火	2 時間耐火性能を有する燃え止まり型木質耐火構造部材に関する研究—設計耐火時間より短時間の火災加熱での赤熱燃焼を制御できる燃えしろ・燃え止まり層の検討—	準会員 齊吉 大河 (早稲田大学)
環境工学	電力供給量の気温感応度に関する地域特性	準会員 清川 勇樹 (東京都市大学)
	断熱改修による室内温度変化と住民の主観的健康感へ与える影響に関する研究	正会員 那須 詩織 (法政大学)
	地域在住高齢者の要介護認定年齢と冬季住宅内温熱環境に関する後ろ向き研究	正会員 林 侑江 (慶應義塾大学)
	我が国の自治体における SDGs 達成に向けた取組度把握のための指標に関する基礎研究	準会員 茂手木 大貴 (法政大学)
建築計画	城郭観光における歴史的再現性と観光の利便性に関する研究	準会員 平岡 美咲 (日本大学)
農村計画	インフォーマルセトルメントにおける空間構成と間取りからみる住まい方—フイリピンボホール州タグピラン市の沿岸地域を対象として—	準会員 塩原 拓 (日本福祉大学)
都市計画	ネットワーク分析を用いた来訪者の回遊行動と店舗間構造に関する研究	正会員 川端 遼太 (日本大学)
建築社会システム	デジタルファブリケーション機器の組合せによる建築部品制作の試行	正会員 高林 弘樹 (千葉大学)
建築歴史意匠	明治期の地籍図に見る近世名古屋城下町の基盤割に関する研究	正会員 近藤 熙乙 (名古屋市立大学)